

## 防災推進国民大会 2017 において東北スペシャルセッション「Build Back Better・よりよい復興」を主催しました（2017/11/26）

テーマ：ぼうさいこくたい、東日本大震災、復興、Build Back Better  
場所：仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）

2017年11月26日(日)～27日(月)に、仙台国際センターにおいて、内閣府等主催「防災推進国民大会2017(ぼうさいこくたい)」が開催されました。この行事は、世界防災フォーラム、防災産業展と同時開催された「防災3行事同時開催」の一つとなります。

当研究所は世界防災フォーラムの事務局としてその実施に当たる一方、ぼうさいこくたいの「東北スペシャルセッション」の主催も担い、内閣府と連携して企画を進め、Build Back Better・よりよい復興」と題して26日(日)14時15分から16時まで開催しました。宮城県が共催、国連開発計画（UNDP）および国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）がパートナー団体としてご協力をいただきました。

この東北特別セッションでは、2015年に仙台で開催された「第3回国連防災世界会議」で採択された「仙台行動枠組み」でも重視されているBuild Back Better（よりよい復興）について、東日本大震災からの復興や世界の事例から成功のカギを共有し、世界に発信することを目的に議論を行いました。当研究所の丸谷浩明教授（人間・社会対応研究部門）がモデレーターを務め、登壇者は次の方々でした。

東京海上日動火災保険（株）仙台支店長 佐藤典生氏  
国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）東アジア地域事務所長 グエン・パン氏  
みやぎ生活協同組合代表理事 理事長 宮本弘氏  
みやぎ連携復興センター代表理事 石塚直樹氏  
国連開発計画（UNDP）気候変動防災チーム部長 ジョー・シャウヤー氏

セッションの議題は、産官学民が連携した多様な主体の取組の重要性や、日本各地や世界各国は東北とどのような連携ができるのかなどを柱とし、国内からの登壇者には、それぞれの立場から東日本大震災への復興の活動と課題、今後の取組などをご報告いただきました。また、2名の海外からの登壇者には、海外の「よりよい復興」の事例や考え方のご紹介とともに、東日本大震災の経験・教訓の積極的発信に期待するとのご意見もいただきました。

当日は、110名を超える聴衆の方に参加いただき、さらに、吉野正芳復興大臣にもご来場いただき、登壇者の発表後に壇上からご挨拶をいただきました。なお、本セッションは、当研究所の「金曜フォーラム」の特別開催としても位置づけて実施し、同ワーキンググループのメンバーが準備・運営を行いました。



丸谷教授（モデレーター）



パネルの様子



吉野復興大臣ご挨拶